

# 抗議文

2022年4月15日

在本邦アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ラーム・エマニュエル 閣下

苫小牧市長 岩倉博文

この度、貴国が2021年6月と9月に臨界前核実験を実施したとの報道がありました。

当市は、核兵器のない平和の実現に努力していくことを決意し、2002年に「苫小牧市非核平和都市条例」を施行しており、同条例では、核兵器の実験等に対する反対の意思を表明しています。

ロシアによるウクライナ侵攻など、核兵器使用のリスクが高まる中で判明した臨界前核実験の実施に、唯一の被爆国として世界平和を願う私どもにとりまして極めて遺憾であり、市民を代表して貴国に対し強く抗議の意を表するものであります。

貴国が核兵器の保有や新たな核兵器の開発へつながる核実験を中止し、核兵器廃絶に向け主導的役割を果たすよう強く要請いたしますので、本国政府へ伝達されるようお願いいたします。